

役者

テクニックを スピーチに活かす

いかにして言葉を

観衆に伝えるか

2024年**11**月**22**日(金)

18時30分～20時

神戸市立**中央区文化センター**

1階多目的ルーム

演劇の基本的要素をスピーチに応用

役者でもある講師が朗読【動読】や、シアターゲームを通して
言葉と身体を使った相手に伝えるテクニックをレクチャーします

講師：あきひと

劇作家・演出家・俳優・動読コーチ

参加費：1人500円

(当日現金払い)

対象：16歳以上

定員：20名(先着順)

■お申込み方法■

お電話 (078-381-7899)

もしくは右側Googleフォーム
よりお申込みください



【お問合せ・アクセス・共催】神戸市立中央区文化センター

☎078-381-7899 〒650-0031 神戸市中央区東町115番地

【主催】こうべ文化芸術相談窓口(公益財団法人 神戸市民文化振興財団)

こうべ文化芸術相談窓口は、神戸で活動するアーティストや文化芸術活動者が
困っている事や悩んでいる事を無料で相談できる専用サポート窓口です。



内容

✓ シアターゲーム

俳優訓練で用いられる『シアターゲーム』。身体を使って、ゲーム感覚で、楽しみながら、人前でも集中してパフォーマンスをする為の基礎を学びましょう！

✓ スズキ・トレーニング・メソッド基礎

俳優訓練法『スズキ・トレーニング・メソッド』で身体や呼吸の使い方を学びましょう！

✓ 動読基礎

『動読』とは、言葉の影響力を最大限に高めるため、講師あきひとが切り拓いたオリジナルの朗読法です。

動読は、言葉と体による伝達力を高め、プレゼンや交渉の武器にもなります！

✓ パブリックスピーチ基礎

公の場で情報や意見を伝える行為を意味する『パブリックスピーチ』。

観衆の注意を引き、情報を魅力的に伝えるテクニックとは？

演劇の「伝え方（デリバリー）」テクニックは、スピーチにも応用が出来ます。
このワークショップでは、参加者の皆様に、シアターゲームや動読を通して、楽しく学びながら、日常生活に新たな視点を持つていただき、表現の要素を取り入れていただくことを目指します。

いかにして言葉を観衆に伝えるか

プロフィール

あきひと

劇作家・演出家・俳優・動読コーチ

兵庫県淡路島出身。

二〇〇〇年よりSPAC-静岡県舞台芸術センターに所属。

代表作は鈴木忠志演出『イワノフ』（イワノフ役）、宮城聰演出『夜叉ヶ池』（山沢学園役）、『寿歌』（ゲサク役）など。アメリカ・ヨーロッパ・アジアをはじめ、海外公演で訪れた国は10カ国以上。

自ら開発した動読(どうとく)で地域の歴史を演じながら談じる歴史演説も好評。

2014年からはスイスに拠点を移し、ティッチーノにおいて演劇専攻の大学院生に対する講義Physical presence on stage

(舞台上で存在感のある身体) 2014~Training based on “SUZUKI TRAINING METHOD” ~を2度にわたって開催し、好評を博す。

2018年には静岡県立大学・地域未来づくりフェローに認定。

2021年にSPAC入団二十周年の記念冊子『衆生皆役者(しゅじょうみなやくしゃ)』を出版。

2022年に淡路島に拠点を移し、『古事記ノイエ・カンパニー』を結成。

2023年には電子書籍『1日10分で健康的に若返るハリウッドスターも実践する 発声のメソッド』を出版。

Amazonベストセラー1位を6部門で獲得する。

ウェルネスリーディングコーチとして健康に役立つ朗読指導や、静岡県が主催する『スタートアップ・ビジネスプラン・コンテストWAVES 2023』では、ファイナリストの1人のピッチを全面的に指導し、GP受賞に貢献するなど、社会における演劇の可能性を追求している。



©Shigenori NAKANO



あきひと
Facebook

